副議長（梶山昭一君） 次， 8 番成井小太郎君の発言を許します。

〔 8 番 成井小太郎君登壇 〕

8 番（成井小太郎君） 8 番成井小太郎でございます。議長のお許しを得ましたので，通告順に従い一般質問をいたします。

まず第 1， 久米土地改良区大排水路についてでございます。

久米土地改良区の大排水路は， 20 年前， 県営かんがい排水事業の採択を受け， 総事業費 1 億 5,700 万円， 排水路延長 2,154 メートル， 溝型柵渠で整備がなされました。ところが， 当時の工法の排水路は， 低盤のコンクリート打ちがなされていないため， 水により浸食され， 柵渠脇の法面が全面にわたって崩壊寸前の危険な状態にあります。通常， 公共事業の耐用年数は 30 年と聞いておりますが， 15 年で排水路の破損が進行し， 大雨による災害が懸念されております。この排水路に流れ込んでくる水は， 道路・田畑・山林の雨水， また， 地域からの生活排水すべてがこの排水路を通して山田川へと流れ込みます。改良区から出る水以外の水が排水路の破損を早めたとも考えられます。

そこで， 改良工事を計画するわけですが， 補助率の負担割合について， 農業従事者の高齢化， 環境保全のための維持費等， その運営に当たっては厳しい状況の中で農業環境の維持に努めているところであり， 圃場事業の受益者負担割合の軽減を図るべきではないかと考えていますが， 補助率についてのお考えをお伺いいたします。

また， ただいま同僚議員より土地改良区の補助金についての質問がありましたが， 私もまた質問させていただきたいと思っております。

平成 18 年度の 3% の削減が以前ございました。この削減は今後も減額， そして廃止となる方向と聞いておりますが， この補助金の使途は維持管理費で， もし廃止ということになりますと農業を続けていくことが困難となると思っております。今後， この補助金に対してどのような考えで進めるのかお伺いいたします。

2 問目として， 大里ふれあい広場ターゲットバードゴルフ場使用料についてお伺いいたします。

年をとっても健康で， 人の世話にならずに楽しく暮らすことができるのなら長生きしたいと思います。そのためには， いろいろなものに興味を持ち， 適度な運動をして多くの人と接することは大切なことだと思います。そして， 好きなスポーツをすることはこれらの条件を満たすのではないかと思います。

大里ふれあい広場にあるターゲットバードゴルフ場は， 関東でも指折りの整備がなされた施設で， 関東一円からプレーを楽しむ人が来場します。しかし， 平成 19 年 4 月 1 日より， 条例改正による使用料の変更がなされ， 市外の者が使用する場合， 規定料金の 200% になり， 利用者数は平成 17 年度 1 万 1,775 人， 平成 18 年度 1 万 810 人おりましたが， 平成 19 年度は 7,965 人と約 30% 前後減少しました。これは， 使用料の値上げが起因しているものと考えられます。

ここは公認登録されたコースですが， 料金の問題で大会の回数も減りました。また， 利用者の多くが年金生活者で， 少しの値上げにも敏感に反応します。ターゲットバードゴルフはテニス場，

野球場と違い、どこの市町村にもあるものではないため、市外の利用者が多く、また個人での使用申し込みとなり、野球場等を借りるときのように一人でも常陸太田市民がいれば市民料金で利用できるというわけにはいきません。

施設の有効利用、多くの市民との交流の場として利用増を図るために、ターゲットバードゴルフ場の使用料見直しについてお伺いします。また、施設利用を増やす対策はどのように考えているか、取り組みをお伺いいたします。

以上、1回目の質問といたします。

副議長（梶山昭一君） 答弁を求めます。産業部長。

〔産業部長 赤須一夫君登壇〕

産業部長（赤須一夫君） 久米土地改良区大排水路についての中の改良における事業の種類と補助率についてお答えいたします。

1つとしましては、県営かんがい排水事業がございます。これは、県営事業で造成された農業水利施設の劣化を、適切な機能保全対策工事を行い、効率的に保全するもので、事業費負担割合は、国が50%、県が25%、地元が25%となっております。

2つとしましては、県単土地改良事業があります。これは、山間部の農業振興のため、指定地域を対象に交付事業対象以外の小規模土地改良事業として行われるもので、事業費負担割合は、県が47.5%、市が20%、地元が32.5%でございます。

3つとしましては、これらの土地改良以外に土地改良施設の維持管理も含めた事業としまして、「農地・水・環境保全向上対策事業」があります。これは、水路の江ざらいや草刈り、農業施設の劣化点検、施設の補修などを地域ぐるみで行うことによりまして、支援金として、水田は10アール当たり4,400円、畑は10アール当たり2,800円が交付されるものであります。事業費の負担割合につきましては、国が50%、県が25%、市が25%となっております。

以上の3つがこの大排水路の改良等における事業として考えられるものでございますが、1つ目の県営かんがい排水事業は、事業採択条件が先に実施いたしました事業完了の翌年度から30年を経過しないと該当にならないことから、今すぐ取り組むことは困難な状況でございます。

次に、2つ目と3つ目につきましては、期間等の条件が付されていないため、修繕等を必要とする箇所を順次実施していくことは可能であります。特に、「農地・水・環境保全向上対策事業」への取り組みを実施したことにより、改良区の維持管理費の軽減が図られるのではないかと考えております。既にこの事業の取り組みを5カ所の団体が実施している状況でございます。

次に、土地改良事業等における市の負担率のあり方につきましては、隣接市町村の状況や農業者の高齢化など、地域を取り巻く全体的な農業情勢を見ながら将来的に検討してまいりたいと考えているところでございます。

続きまして、土地改良運営補助金についてお答えいたします。

現在、市内5つの土地改良区に対しまして、運営費、事業費補助として補助金が交付され、土地改良の運営、維持管理等に充当されておりますが、市としての補助金の基本的な考え方といたしまして、必要性、費用対効果、経費負担のあり方の観点から交付することにしております。運

営費につきましては、組織を構成する方々の適正な負担や繰越金の状況などから、効率的な経営がなされているかが大切であるにとらえ、段階的に見直しを進めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

副議長（梶山昭一君） 教育長。

〔教育長 小林啓徳君登壇〕

教育長（小林啓徳君） 大里ふれあい広場ターゲットバードゴルフ場使用料についてお答えをいたします。

市の社会体育施設使用料につきましては、合併前の旧市町村の使用料に差があるため、合併調整方針の中で必要に応じて合併後調整することになっておりました。平成18年度に社会体育施設使用料について、他の施設との整合性を図り見直しを行い、平成19年4月1日から施行しております。

大里ふれあい広場のターゲットバードゴルフ場の市外利用者につきましては、使用料金の加算がなかったことから、他の社会体育施設との整合性を図るため、平成19年度より200%にすることにいたしました。使用料改定後の利用者の減につきましては、使用料の値上げによる市外年会員の減や大会回数の減、また平成19年9月、日立市河原子町に公認のターゲットバードゴルフ場が整備されたことも利用者の減になった要因の1つではないかと分析しております。議員ご指摘のターゲットバードゴルフ場の市外利用者の年間使用料の見直しについては、他市の料金等を勘案し、今後検討してまいります。

なお、市スポーツ振興計画に、平成26年度までに、成人のスポーツ実施率週1回以上の運動をする人を約50%という達成目標を掲げております。これを達成するためにも、ターゲットバードゴルフを含む社会体育施設のより一層の利用促進を図っていく必要から、ターゲットバードゴルフを含め各種のスポーツの楽しさや、よさの普及に今後とも力を入れていきたいと考えております。

副議長（梶山昭一君） 8番成井小太郎君。

〔8番 成井小太郎君登壇〕

8番（成井小太郎君） ありがとうございます。

まず第1に、久米土地改良区大排水路についてですが、大排水路の現状を申しますと、まだ完成して15年ということで返済が残っているわけですね、あと2年ほどあるわけなんです。そういう中で排水路の、先ほど申し上げましたように損傷が進んでいるということで、これは、道路とかその他生活雑排水が入ってくるということで、農政だけの観点ではなく、環境保全をも考慮し検討をすべきではないかと私は考えるわけでございます。そういう中で、農政部、そして建設部、横の連絡ですね、そういうものも大切になってくるのではないかと思います。よろしくこれからお願いしたいと思うわけでございます。

補助金に対しましてはわかりました。考え方としては同じだということでございますが、今後農業を続けていくという意味ではなくてはならないものになっていることは、私としても地域に住んで実感しているところでございますので、継続よろしくお願いしたいというふうに思います。

次に、ターゲットバードゴルフ場についてですが、6月の定例会の私の質問は、西山荘の観光客の減についての対策でしたが、今回もターゲットバードゴルフ場の利用者の減での質問となったわけです。

市外から常陸太田市を訪れる人が増えるようにしなければ、また、交流人口が増えなければ地域活性化ができない地域であるということを再度ここで考えていただきたいと思います。利用が増えるということは施設の効率的な使用にもつながり、いろいろな人との交流を通して情報交換、地域PRにもつながり、そしてまた、リピーターとなって訪れてくるものと考えます。例えば、久米ターゲットバードゴルフ場の隣接地にこめ工房がございます。こめ工房の利用数は、ターゲットバードゴルフ場の利用が増えればきめんに増加すると思います。

2点について細かいところの質問だったかと思いますが、細かいところを質問することによって市全体が逆に見えてくるんじゃないかということで、あえて質問をさせていただきました。これから、きめ細かな行政の対応をよろしく願いいたしまして私の一般質問を終わります。